

低炭素型まちづくりで地球温暖化防止

低炭素型まちづくりの基本理念を「自分の住むまちは、自分たちで守る」とし、市の憲章にもある「きれいな空気と水と緑のあるまち」づくりのため、食と環境：「地産地消とフードマイレージ」、家庭の省エネ：「環境カレンダー：家計を守る！」、湧水がくれた希望の明かり！：「新エネルギー：湧水小水力発電」など、省エネ・省資源活動を通じて地球温暖化防止につなげる取り組みを実践している。

これら省エネ・省資源活動に取り組むにあたり、持続、発展性を狙いに、活動メンバーを3世代で構成すると共に、社会（地域）性のある活動とするため、地域活動団体や学校・農協などと連携し、現在、行政が取り組む重要な環境改善事業と連携・協働した取り組みとするなかで、広く市民への啓蒙・啓発となるよう皆で努力してきた。これからも近隣市から東京多摩地域へと活動の輪を拡げ、地球温暖化防止と共に省エネ・省資源につなげる取り組みと将来を担う人材の育成に努めていきたい。



湧水小水力発電